<table>
<tr><th colspan="2">第５回　北広島市教育施策審議会</th></tr>
<tr><td>日　時</td><td>平成３０年３月１６日（金）　18：30～19：00</td></tr>
<tr><td>場　所</td><td>北広島市役所　４階　会議室Ｄ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">内　容</td><td>教育施策審議会次第
１　開会
２　議事
・北広島市教育推進計画（平成３０～３２年度）原案について
３　答申　（教育施策審議会から教育委員会へ）
４　その他
５　閉会</td></tr>
<tr><td>■　概　要</td></tr>
<tr><td>【議事】
教育推進計画（平成 30～32 年度）原案について（教育総務課主査）
平成 30 年度の教育推進計画について、昨年９月１日に、教育委員会から当審議会に策定のための諮問を受けておりました。
この答申(案)につきましては、継続事業をベースとして、今迄の点検評価結果や学校要望をはじめとする教育関係機関からの意見などを加味した、新規事業、拡大事業を追加し、また、見直し事業について修正した内容となっています。

①　８つの政策と 24 の施策を進める個別事業について
教育推進計画（原案）に掲載した個別事業について、第１回及び第４回の審議会で説明した新規事業、拡大事業、見直事業の査定結果や次年度予算の内容について説明しました。前年度実績については、決算見込みを掲載しています。

②　施策の成果・目標指標」について
今年度までは「施策の方向性」という内容で、個別事業の評価をもとに今後の方向性を記述しておりましたが、今回から８つ政策を構成する 24 の施策ごとに具体的な目標となる数値等を定め、その目指すべき目標を数値で示すことで、施策の成果を把握することとし、平成 30 年度は、24 の施策に 63 の項目を設定し、取り組んでいきます。

【答申】
９月１日第１回の会議において、教育委員会から教育推進計画（平成 30～32 年度）策定についての諮問を受け、これまで審議してきました。
当審議会として、個別事業等の内容を踏まえて、本日の計画原案を教育委員会へ答申したいと思います。　（全員賛同）
教育施策審議会会長から教育長（教育委員長名）へ答申されました。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>（教育長から）
　平成３０年度の教育推進計画につきましては、昨年の９月１日に諮問させていただき、長きに渡りご審議をいただき、ご答申いただきまして、改めてお礼申し上げます。
　本日、ご答申いただきましたので、来週の教育委員会会議で答申案を審議のうえ、議決をしまして正式に決定されることになります。
　平成 30 年度から推進計画は、教育基本計画の最終３か年の計画となり、仕上げの３年間となりますことから、今までの取組みを検証するとともに、各施策の成果指標を意識し、各種事業を着実に実行していきたいと考えております。
　また、本年４月から小中一貫教育を全市一斉で開始いたします。９年間の連続した学びによる子どもたちの「生きる力」を育んでいきたいと考えております。
　今後につきましても、７月以降に地教行法に基づく、教育委員会の事務事業の点検評価が予定されていますので、引き続きよろしくお願いいたします。

【その他】
※次回会議の日程、委員の改正について（事務局から）
　次回の会議は、７月下旬ころに平成 29 年度点検評価報告書に関する案件を予定しております。具体的な日程は後日、事務局から調整させていただきますので宜しくお願いします。
　また、久保田委員が市外へ転勤することとなり、本人から審議会委員を辞退したいとの申し出がありました。また、村山委員が教職員人事により、市外へ転勤になりましたので、今後、スポーツ推進審議会及び校長会から新たな委員の推薦をいただき、委員を委嘱することといたします。
　従いまして、次回審議会は、新たなメンバーで開催することとなります。</td></tr>
<tr><td>出席者</td><td>審議会：　板垣会長、由水委員、村山委員、小玉委員、新發田委員

事務局：　教育委員会
教育長　吉田　孝志
教育部　部長　水口　真
学校教育課　課長　河合　一
小中一貫教育課　課長　冨田　英禎
文化課　課長　丸毛　直樹
ｴｺﾐｭｰｼﾞｱﾑｾﾝﾀｰ　ｾﾝﾀｰ長　小島　晶
学校給食ｾﾝﾀｰ　ｾﾝﾀｰ長　鈴木　靖彦
社会教育課　主査　山田　孝博
教育総務課　主査　花田　秀樹
教育総務課　主事　竹谷　智史</td></tr>
</table>